

「小児神経筋性側弯症手術 周術期サポートチーム導入の効果検証」へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター 整形外科 では「神経筋性側弯症手術後」の患者さんを対象に「手術時腰背筋膜切離術併用の効果検証」についての研究を実施しています。この研究によって得られた情報は、これから同じ病気で手術を受ける方に役に立つと考えております。

研究課題名	小児神経筋性側弯症手術 周術期サポートチーム導入の効果検証
研究の対象	小児神経筋性側弯症手術を受けた症例で、栄養サポートチームが介入した 2018 年 4 月前後の 60 例
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	小児神経筋性側弯症児は栄養不良児が多く、手術リスクとなる。当科は本手術に特化した栄養サポートプログラム、多職種チームを 2018 年より導入した。その間、適宜フローチャートなどを改変し、その運用が近年安定してきた。今回、当院手術例のデータを利用して、その効果を検証し学術集会などで報告する。
研究期間	2023 年 7 月から 2024 年 3 月まで
研究に使用する試料・情報の種類	年齢、身長、体重などのバックグラウンドデータ 手術時間、出血量などの手術に関するデータ 側弯角、骨盤傾斜などのレントゲン画像データ 個人特定情報は利用しません
研究実施機関（研究組織）	神奈川県立こども医療センター 整形外科
外部への試料・情報の提供とその方法	本研究では院内のみの使用で、外部に試料・情報の提供はありません
情報の管理について責任を有する者・所属	整形外科部長 中村直行

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021 年 6 月 30 日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究はかながわ小児医療基金の助成を受けて実施しております。

研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございま

したら、下記連絡先までご連絡ください。研究データからお子さんの情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、解析開始後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 整形外科
中村直行

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-711-2351 内線 2212